

サバイディー！ 青年海外協力隊員！

ねらい：青年海外協力隊の活動を知り、何を大切にしているのか、私たちにできることは何かを考える。

対象：小学校高学年～

時間：45分

準備するもの：世界地図、ラオスの地図、通話機、掲示資料、自作ワークシート

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入	1. 日本の支援活動の仕組みを再確認する。 2. 本時の流れを確認する。	・NGO と ODA、JICA について混乱しないよう、樹形図をかいて関係を可視化する。 ・めあての焦点化と単元のゴールを確認する。 ・ラオスで活動する協力隊員とはビデオ通話で繋ぎ、テレビ画面に拡大表示する。 ・適宜板書し、講話の内容を共有化する。	・世界地図 ・ラオスの地図 ・地図帳 ・通話機器 ・掲示資料 ・自作ワークシート
展開	3. 青年海外協力隊の話聞きながら、ワークシートにメモをとる。 前半→ラオスで活動している青年海外協力隊員とビデオ通話で繋ぎ、話を聞く。 後半→元青年海外協力隊として活動していた方々から直接話を聞く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>《講話の流れ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶「サバイディー」 ・派遣のきっかけ ・活動地域と活動内容 ・活動地域がどのようになっ てほしいか ・活動の喜びや苦勞 ・小学生へ伝えたいこと ・質疑応答 ・挨拶「コープチャイライ」 </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <p>教員養成校 係数隊員 助産師 深津隊員 PCインストラクター 新里隊員</p> </div>	
まとめ	4. 青年海外協力隊員の方々が活動するうえで大切にしていることや話を聞いて感じたこと、考えたことを共有する。 5. ふりかえりを書き、友達と伝え合っ て考えを交流する。	・日本と他国の共通点や相違点に着目しながら講話を聞かせる。 ・青年海外協力隊の講話から、現地の異文化に対する心情や対応をとらえさせる。 ・単元のゴールを見通したふりかえりにする。 ・児童の感じたことや考えたことを共有することで、再思考し、考えを深める。	

【添付資料】ワークシート

ラオスからのメッセージ

○深津奏瑛さん 北海道出身 海外青年協力隊：助産師

なぜ助産師になったんですか？

()

ラオスで働いているのカルチャーショック（びっくりしたこと）はなんですか。

()

ラオスの人たちのすごいなと思ったことは何ですか。

()

○糸数樹奈さん 那覇市立仲井間中学校 数学教師

青年海外協力隊：学校（教員養成学校に通う数学科の学生に教える）

なぜ海外へ?? ()

協力隊で何をしているの? ()

○日本語を学ぶ学生たちについて

思ったこと ()

あなたは将来やってみたいこと（目標・夢）は何ですか。

()

授業を振り返って（思ったこと）